

## 一二度目の大学生

思い立つ日が吉日、速攻で会社を辞めて大学受験をしよう！  
と勢いづきましたが・・・  
生活はどうするの?? 🤔

突然会社を辞めて大学生になったとして、どうやって食っていくのか。  
火を見るよりも明らかです。🔥  
無理です。  
じゃあどうするか・・・

思いつくままに連絡を取りました。📞  
まずは大学の時の指導教授。直接お会いしました。  
教員免許を取りたいのもう一度大学に戻りたい！  
と訴えました。  
しかし教授はあまりいい顔をしませんでした。  
その理由は、

「戻るとしたら大学院博士課程に入るしかない。  
博士課程をでると現在は就職が非常に難しいのでおすすめできない。」

と言うことでした。

「よく考え、それでも戻りたいなら連絡しなさい。」

と伝えてくださいました。

悩みますよね。お金も年間100万円からかかります。

悩んだついでに大学院時代の先輩に連絡しました。  
先輩にも教授と同じことを言われました。

ん〜🤔

どうやら明治に戻るという選択肢はなさそうだな、と思うようになった頃、  
高校の時の恩師に連絡しました。高校3年の時の担任です。

連絡を取ってお宅にお邪魔しました。

先生:おまえ、高校卒業してからのの方が手が掛かるな。

ふな:すみません。ちょっと相談が・・・ 🤔

先生:会社辞めてまさか教員になろうとかって言うんじゃないだろうな？

ふな:何でわかるんですか！

先生: ……👉まさかとは思ったが…

なぜか先生はわかっていたのです。だれも一言も言っていないのに。

先生:学生の時教員免許は取ったのか？

ふな:とっていません！

先生: ……👉

ふな:だからどうしようかなと思って…

頭を抱える先生。

先生には3人のお子さんがいらっしゃいます。

一番上のお嬢さんは私と同じ年。一番下のお子さんは私の妹と同じ年。

後で聞いた話ですが、お嬢さんはなんと私と同じ明治大学でした。

そして大学2年生の時、私と同じように医学部に行きたいと言うことで休学していたそうです。

その後復学、卒業して企業に就職したそうです。

二番目のお子さんは、大学卒業後、就職、退職、通信制大学に入り直し小学校の教員免許を取得し、講師としてご活躍とのこと。

どこかで先生のお子さんとオーバーラップしていたのかもしれない。

先生のおかげで大学の通信課程を知り、調べることにしました。

インターネットで調べると結構たくさんあるんです。

日本大学、東洋大学、慶応大学、明星大学…👉

その中で、仕事をしながら勉強しやすいところを探しました。

条件は、

- ①スクーリング(対面式の集中講義)が会社休日のゴールデンウィーク、お盆休みにあること。
- ②科目修得試験(単位を取るための試験)が地元でかつ週末に受けられること。
- ③学費が安いこと。

これにぴったりはまったのが、日本大学通信教育部でした。

このとき季節はすでに冬。👉

すぐに願書を取り寄せ、4月入学に間に合うように準備をしました。

入学試験は特になく、書類選考だけです。

書類をそろえて出願。

二～三週間後入学許可の通知が届きました。

書類選考の結果合格とのこと。👉

入学のための手続きを取りました。

そして、めでたく二度目の大学生になったのです。

日本大学通信教育部文理学部文学科国文学専攻の三年生に編入学しました。

サラリーマン学生です。

人生を賭けたチャレンジでした。

通信制の大学と聞いて皆さんはどう思いますか？ 🤖

通学過程卒業と通信制課程卒業、これはどちらも四年制大学卒業なのです。

何も変わらないのです。

ただ、勉強スタイルが違うだけです。📝

通信課程のシステムを簡単に説明しますね。

入学後すぐ履修登録をします。

↓

数日後教科書と専用のレポート用紙が送られてきます。

↓

各教科を自分で勉強し、課題レポートを作成し送ります。

同時に年四回ある科目修得試験(単位修得試験)を受ける準備をし、受験します。

↓

レポートと科目修得試験両方の合格を持って単位となります。

これが基本的な勉強の仕方です。

このほかに、春期スクーリング、夏期スクーリング、秋期スクーリング、夜間スクーリング、中間スクーリングというものがあります。これは大学に行き、授業を受け、その中で試験も実施し、所定の要件を満たすと単位が取れるというものです。

私はサラリーマンでしたので、すべてのスクーリングに出ることはできませんでした。

当時は宇都宮に住んでいて、スクーリングは東京の水道橋でした。

通うだけでも2時間以上かかります。🚆

ですので、基本はレポートを書いて試験を受けて、というやり方をとりました。

このレポートがかなり苦戦しました。

通学過程のレポートとは訳が違います。

採点してくださる教授もとても熱心な方ばかりでした。

通常の講義ではないので、きちんと理解しているかどうかを確認するのはレポートとテストだけです。

その分厳しいんですね。一度で合格した教科はほとんどありませんでした。🚫

試験は受かってもレポート不合格という教科がかなり出ました。

ですので、半端じゃなく勉強しましたよ。市立図書館に入り浸りました。

今までの人生で一番勉強したかもしれません。

そして、春期(ゴールデンウィーク)と夏期(お盆休み)はスクーリングに行きました。

教育心理学系の科目はできるだけスクーリングで勉強するようにしました。

いろいろな現場の話を実際に聞いてみたかったので。

私は一度大学を卒業しているので卒業をする必要はありませんでした。  
教職に絡む単位を取ればそこで退学してしまっても問題ないのです。  
しかし、教職に絡む単位を現役の時に一つも取っていなかったのもので、すべて取り直し。  
必要な単位は 69 単位に及びました。かなりの量です。

果たして 69 単位取れるのか。かなり不安でした。

入学後、初めてのゴールデンウィーク。  
会社は 9 連休です。  
どきどきしながら初スクーリングに参加しました。👤  
受講教科は「発達と学習」教育心理学の一部とってもらえればいいと思います。

朝 6 時の電車で大学に向かいます。🚆  
3 日間の講義です。  
せっかくの休みに講義を受けに行くのだし、とにかく少しでもたくさんのお話を吸収しよう！と思いました。  
現役大学生の時にもこう思うことができればよかったのですが、なかなかね・・・😓  
先生の一言一句まで逃したくない、という思いから 3 日間でノート 1 冊使い切りました。📝  
自分でもびっくりです。  
そして 3 日終わったとき、もっと受講したい、と思いました。  
涙が出るほど充実した 3 日間でした。💧

先生も生徒も休みの時に出てきているわけです。  
どちらも必死です。居眠りをしている生徒などいないのです。  
生徒の層も様々で、おそらく高校を出たばかりであろうと思われる若い生徒から、60 代の生徒まで、いろいろな方が受講していました。  
そんなバラエティーに富んだ教室を見わたり、「負けられね〜！」という思いも出てきました。  
ここから私はスクーリングにはまったのです。  
早くお盆休みにならないかな、と思いました。

仕事をしていると早いもので、あっという間にお盆休みがやってきました。  
2 教科を受講しました。そのうちの 1 教科は「教職課題演習」という科目で、実際にみんなの前でプレゼンをするのです。プレゼン後は受講者全員でディスカッションするのです。  
自然と皆仲良くなってきました。この同じ講座に 40 代の女性の方と 50 代の男性の方がいらっしゃいました。  
もちろん生徒としてです。  
なぜこの講座を受講したのですか、と質問したときに、お二人とも

### 「教員免許を取るためだよ」

とおっしゃったのです。  
びっくりしました。👀  
私など、足元にも及ばないと思いました。  
その年齢でもまだ勉強したい、免許を取りたい、というその意欲に脱帽です。

こうなったら私は何が何でも負けるわけにはいきません。  
いち早く69単位を取って、教員になろう！と改めて誓いました。  
お互い、良い刺激になりました。

通信教育での生活にもだいぶ慣れ、仕事をしながらテンポよくレポートを書きました。  
そして年4回チャンスがある単位修得試験も、毎回3科目ずつ受けていきました。  
もちろん、ゴールデンウィークとお盆休みはスクーリングに出席しながら。